

紬織物を使った装身具の開発

佐藤 茂* 小林 哲也* 藤代 範雄**

概要

【研究目的】

グラフィックデザイン技術を活用し、結城紬等の織物を使った装身具の開発を行う。行方周辺はいばらき空港の開発で注目され、観光客を呼び込むための観光資源に苦慮しているため、商工会や関係機関との連携により、地域ブランド商品に展開する。

【研究内容】

- ①結城紬図案作成高度化に関する研究（縞・格子柄の検討、亀甲柄の検討、図案の編集加工、試作製作）
- ②グラフィックデザイン技術を使った紬織物への研究（テーマ・題材の調査、レイアウトデザイン、デザイン試作）

【結 果】

縞・格子柄は伝統文様を特徴付ける代表であり、気候や地形、生態系などからくる日本的なデザイ

ンを資源として活用する能力が、今日に求められるデザインの創造性である。

試作のコンセプトを 1) 日本的なモチーフを使う、2) 日常性を訴える、3) 海外ターゲットを想定する、4) 消費者やマーケッターとのギャップを考える、により行った。

グランドデザインは、地域の持つ活力や地場を活用し、地域に産業や観光、生活そのものの力をつけるための基本構想で、本共同研究を茨城県のデザインシナリオのひとつとして今後活用したい。



図 デザイン試作

*紬技術部門

**株式会社藤代範雄デザイン事務所

緋模様を利用した土産品の開発

佐藤 茂* 小林 哲也* 井上 純子** 井上 智子**

概要

【研究目的】

結城を訪れる観光客や見学者から結城紬関連の土産品や記念品の要望が多く寄せられているため、結城紬の緋模様を応用した土産品を開発し、結城市内情報センター等での販売を想定した商品とする。

【研究内容】

- ①土産品の商品調査
- ②緋模様の作成
- ③クリアファイルへの応用

研究分担：

- 紬の里：図案考案、商品化及び販売
- 当所：コンピュータによる緋模様図案化

【結 果】

インターネット等の調査により、商品アイテムをクリアファイルとし、図柄のモチーフを結城市の花である「ユリ」とした。緋模様作成に当たっては、考案した図柄を図案作成技術を用いて、

図柄やパターン、配色等を研究し、開発した。



図 開発したクリアファイル

開発品はサイズ A4 版、価格 210 円（税込み）で、結城市民情報センター内の物産センターで 2008/1/7 より販売した。また、2008/1/10 毎日新聞に掲載されるなど、市場評価も得られた。

今後は結城市内の他、国民文化祭 2008, TX 沿線等、茨城県をアピールする手軽なグッズとして可能性を見出したい。

*紬技術部門

**株式会社紬の里